

# 令和2年度 保土ヶ谷区社会福祉協議会 事業報告書

## 1.住民による地域福祉活動の支援

(1) 身近な地域での「つながり・支え合い活動」の推進
①総合相談 地域の方の多種多様な相談を関係機関へつなぐなどをして解決を図った。 ・孤独による将来不安、近隣の対応、親族間の仲裁など 16件
②食支援を通じた自立に向けた支援 食支援依頼者の生活上の課題を聞き取り、関係機関と連携して解決を図った。 ・障害があるため、母子家庭で新型コロナウイルス影響での経済状況が不安定等 延べ206件
(2) 地区社会福祉協議会活動の支援
地区社会福祉協議会活動への助成 地区社会福祉協議会の運営および活動の推進のために助成金を交付した。 ①地区社協活動運営費（市社協補助金を活用） 50,000円×22地区（計1,100,000円） ②地区社協助成金 230,000円×22地区 5,060,000円 今年度より次年度助成金を配分（計10,120,000円）
地区社協運営・事業支援 地区担当制により、職員が運営支援や研修・事業実施の支援を行った。
地区社会福祉協議会分科会（会長・事務局長合同会議）
①実施日：7月13日（月） 出席者：21名 ※各地区1名の出席で実施 内 容： ・令和2年度保土ヶ谷区社協事業計画について ・令和2年度「地区社会福祉協議会検討会」について ・ほっとなまちづくりについて ・情報共有「コロナ禍でのまちの状況とほっとなまちづくりの策定について」 ・情報交換「地区別計画の進捗状況」の共有
②実施日：9月29日（火） 出席者：22名 ※各地区1名の出席で実施 内 容： ・第38回保土ヶ谷区社会福祉大会～ほっとなまちづくりフォーラム～について ・ほっとなまちづくりについて ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地区社協活動費・地区社協助成金の変更について ・地区社協助成金の振り込み時期の変更について ・世帯賛助会費について ・情報共有「いま、求められる地区社協活動について」 ・情報交換「コロナ禍での地域活動の再開状況について」 ・情報交換「第4期ほっとなまちづくりの策定進捗状況について」
③実施日：11月26日（木） 出席者：20名 ※各地区1名の出席で実施 内 容： ・ほっとなまちづくりについて ・令和3年度地区社協助成金（23万円）について ・令和2年度第1回地区社会福祉協議会検討会 報告 ・情報共有「第4期ほっとなまちづくりの策定進捗状況について」 ・情報共有「感染対策をした上で再開した地区の活動について」
④実施日：3月9日（火）※書面開催 内 容： ・本会役員候補者等の推薦並びに各種委員の選出について ・地区社協への助成金について ・地区社協状況書作成に伴うヒアリングについて ・ほっとなまちづくりについて

(3) 小地域支援活動

第3期保土ヶ谷区地域福祉保健計画の推進 / 第4期計画の策定

①地区社協助成金（再掲）

230,000円×22地区 5,060,000円 今年度より次年度助成金を配分（計10,120,000円）

②地区社協活動への参画

定例会、総会および各種会議、事業等に参加し、現状把握と活動支援を行った。

③地区別計画の策定・推進支援

区役所、地域ケアプラザと地区支援チームを構成。情報を共有し地区支援を行った。

④区全域計画の推進

区役所との共同事務局として、計画の推進に参画した。

- ・ほっとなまちづくり推進会議（年2回） ※うち1回は書面開催

生活支援体制整備事業の推進

①横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた保土ヶ谷区行動指針の推進

- ・区が主催するプロジェクト会議への参加（7回）
- ・生活支援体制整備事務局会議（10回）、区との打合せ（適宜）

②1層協議体の開催

- ・「オール保土ヶ谷で見守りを考える会」  
区高齢担当・福祉保健課・区社協にて地域における見守りの充実に向けた検討を実施。

③2層生活支援コーディネーター支援

- ・コーディネーター連絡会の開催 毎月1回（別掲）
- ・個別相談対応等 随時
- ・2層協議体への出席

④相鉄沿線4区（保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷）合同 団地支援に関する検討

- ・4区の1層生活支援コーディネーターの検討会  
実施日：9月4日（金）、10月14日（水）、10月28日（水）
- ・団地支援に関する市域の生活支援体制整備研修の企画協力  
実施日：12月7日（月）13時～16時

⑤生活支援体制整備事業・介護予防事業 合同検討会の開催

実施日：8月26日（水）9時半～11時半

対 象：地域ケアプラザ生活支援コーディネーター、保健師職、区高齢担当、区社協

⑥区域の各種会議への出席

- ・包括全体会
- ・認知症担当者部会
- ・多職種連携代表者会

#### 地域ケアプラザとの連携

地域ケアプラザと連携し、小地域支援を行った。

##### ①地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター連絡会（計8回）

情報交換、地域交流研究部会の連絡調整、各ケアプラザの地域交流事業の報告等

実施日：6月10日（水）7月8日（水）8月12日（水）9月9日（水）

10月14日（水）11月11日（水）12月9日（水）

3月10日（水）4・5・1・2月は中止（新型コロナウイルス感染拡大防止）

##### ②地域交流コーディネータースキルアップ研修

・生活困窮者支援について

・福祉避難所について

※いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・書籍の配布 広報関係 2件 事業関係 1件 地域支援関係 1件

##### ③地域ケアプラザ生活支援コーディネーター連絡会（計12回）

事業推進に必要な知識・情報の共有、具体的な取組手法等の検討及び市域・区域・地区の取組状況の報告等

実施日：4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催

6月15日（月）7月20日（月）8月17日（月）9月4日（金）

10月2日（金）11月16日（月）12月21日（月）

1月18日（月）2月15日（月）3月15日（月）

場 所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点ほか

参加者：各地域ケアプラザ生活支援コーディネーター、区役所職員、区社協職員等

##### ④包括支援センターとの連携

・包括ミーティングへの出席

・個別ケース地域ケア会議、包括エリア地域ケア会議への出席

・多職種連携会議、民生委員とケアマネジャーの懇談会等への参加

#### （4）財源の確保・財政基盤の強化

##### 保土ケ谷区ふれあい助成金

地域福祉の推進を図るため、市社協基金果実（よこはまあいあい基金、障害者年記念基金）、横浜市社協善意銀行、共同募金配分金、年末たすけあい募金配分金、保土ケ谷区社協善意銀行、日本赤十字社、世帯賛助会費、福祉基金を財源に保土ケ谷区ふれあい助成金事業を実施した。

配分審査会実施日：6月17日（水）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面評決を実施。

審査者：委員5名

助成決定内容 ※詳細別掲（P23：別表3）

区分		団体数	金額	
I 要 援 護 者 支 援 区 分	1) 集いの場活動	A	3件 690,000	
		B	1件 300,000	
		C	0件 0	
		D	15件 1,519,000	
		E	42件 3,085,000	
		F	43件 2,050,000	
	2) 家事・生活支援活動	A	2件 650,000	
		B	0件 0	
		C	2件 240,000	
		D	1件 80,000	
		E	4件 200,000	
	3) 配食活動	A	0件 0	
		B	1件 95,000	
		C	1件 240,000	
		D	2件 180,000	
		E	6件 450,000	
		F	0件 0	
	4) 送迎活動	A	1件 350,000	
		B	1件 300,000	
		C	2件 295,000	
	II 障 害 児 者 支 援 区 分	1) 障害児者支援・当事者活動	A	1件 165,000
			B	0件 0
			C	2件 195,000
			D	1件 60,000
E			3件 120,000	
2) 宿泊・日帰りハイク事業		A	6件 300,000	
3) 視覚・聴覚障害者支援		A	5件 250,000	
III 福 祉 の ま ち づ く り 区 分		A	24件 960,000	
	B	7件 210,000		
IV 健 康 増 進 区 分	A	2件 20,000		
新規事業立ち上げ資金※		3件	120,000	
合計		181件	13,124,000	

※新規事業立ち上げ資金については、配分審査会で2件承認、その後申請の1件は会長決裁で承認。

#### (5) ボランティアセンターの運営

##### ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアに関する相談・コーディネート業務の充実を図るため、ボランティアコーディネーターを非常勤職員として雇用し対応した。

ボランティアコーディネーター：2名

配置時間：月曜～土曜（9：00～17：00）

##### ボランティア相談の実施

ボランティアをしたい人・してほしい人の相談を受け、ボランティアの登録およびボランティアの紹介を行った。

##### 【ボランティア登録者】

グループ：53団体、新規登録：1団体

個人：1,201名、新規登録：29名

【ボランティア依頼・対応】（対応率：65.7%、令和元年度：75.1%）

分 類		依頼件数	対応件数	調整中	調整つかず	取り下げ	対応人数	調整数
児 童	単発	1	1	0	0	0	1	1
	継続	2	2	0	0	0	3	14
障がい	単発	2	1	1	0	0	0	8
	継続	34	25	9	0	0	45	133
高齢者	単発	7	3	0	0	4	23	51
	継続	20	10	9	1	0	38	50
外国人	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	2	2	0	0	0	5	9
その他	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	2	2	0	0	0	4	10
合 計	単発	10	5	1	0	4	24	60
	継続	60	41	18	1	0	95	216
	合計	70	46	19	1	4	119	276

保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク

災害に備えてボランティア団体及び地域防災拠点などが、平常時から交流をすることで連携の充実を図ることを目的とし、研修及び訓練等を行った。（区役所と共同事務局）

〈総会〉

実施日：書面審議により開催

回 答：42名（団体会員・個人会員・地域防災拠点関係者等）

内 容：令和元年度活動報告及び収支決算報告について

会計監査報告

令和2年度活動計画（案）及び収支予算（案）について

〈運営委員会〉 計9回

実施日： 6月5日（金） 7月21日（金） 10月12日（月） 12月2日（水）

1月13日（水） 3月 5日（金） 3月 12日（金） 3月 31日（水）

〈防災・減災に関連する講座の実施〉

地域が開催する防災講習会に赴き、区災害ボランティアネットワークの活動をPRするとともに防災・減災活動の啓発を実施。 計1回 17名参加

〈防災ウォークの実施〉

(1) 実施日時：令和3年3月12日(金) 9:30～

(2) 内 容：崖地や地域防災拠点等を確認し、災害を想定しながら行いました。

【ウォークルート】

かるがも → 水道道 → 星川小防災拠点 → クリエイト → 仏向小防災拠点 →

和田町駅 → 水道道 → 星川中央公園 → かるがも

〈地域防災拠点訓練への参加〉

旧くぬぎ台小学校地域防災拠点訓練

実施日：10月14日（日）

参加者：約600名

内 容：ボランティア受付、ペット同行避難

〈ほどがや区民まつりへの参加〉

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〈部会〉

(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ部会

実施日：11月8日（木）

内 容：災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施


参加者 災ボラ運営委員7名 部会員2名 区子ども家庭支援課2名 総務課2名

区社協3名

(2) 広報部会

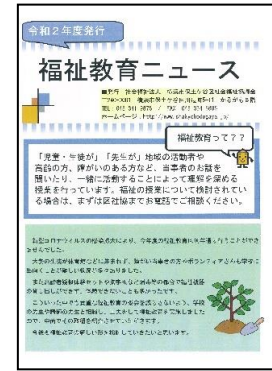
定期的にホームページを更新。地域の防災に関するイベントや防災コラムなどを掲載し、防災に関する周知活動を行いました。

## 2.福祉の担い手の発掘・育成

(1) ボランティア講座等の開催	
施設飾りボランティア	区内在住者を対象に、コロナ禍におけるボランティア活動のきっかけとして、高齢者施設へ送るクリスマス・お正月飾り作成ボランティア活動者をタウンニュースで募集。個人宅や福祉保健活動拠点で飾りを作成し、区内高齢者施設10か所へ配布を行った。 実施日：11月5日(木)・11月9日(月) 参加者：個人16名・団体2
レクリエーションボランティア動画撮影	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループの活動支援として、レクリエーション活動を撮影し、DVDを作成。区内の高齢者福祉施設7か所へ配布を行った。 実施日：10月3日(土)・11月15日(日)・1月28日(木) 参加者：音楽演奏(2団体)、体操(個人)
(2) 地域活動への参加を呼びかけ、また促すための情報発信	
広報紙「社協ほどがや」の発行	編集委員会を開催し、本会の事業紹介、地域福祉に関わる特集テーマを通じて福祉の普及を目的とし、広報紙の発行を行った。 ・第48号 2月発行 部数：84,000部(全戸配布) 特集記事 「コロナに負けない!地域のつながり」 コロナ禍でも地域のつながりを途絶えさせないよう、実施方法を工夫し活動している団体の活動を紹介。 その他、区社協からのお知らせ、ボランティア情報、共同募金保土ヶ谷区支会、日本赤十字社保土ヶ谷区地区の取組紹介
	
「ボラセンだより」の発行	ボランティア登録者、ボランティアセンター来館者およびボランティア依頼者に対し情報提供を行った。 また、国大生への食料支援および施設飾り・動画作成に関して特別号および号外を発行し、ボランティアセンター事業の周知を行った。 発行回数：4回(夏号8月・特別号・冬号2月・号外) 発行部数：夏400部、特別号200部、冬400部、号外20部
(3) 学校における福祉教育の推進	
福祉教育推進事業	学校等における福祉教育への取組について、情報提供・講師調整などの支援を実施した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校からの福祉教育の依頼件数が大幅に減少した。 支援数：6校(小学校4、中学校1、高等学校1) 内容：視覚や聴覚の障がい当事者による障がい理解に関する講演を行った。テレビ放送やオンラインでのコミュニケーションを取り入れ、工夫をして実施した。 実施回数：小学校 5日 8コマ 延べ参加者数 1,456名 中学校 1日 1コマ 延べ参加者数 195名 高等学校 1日 1コマ 延べ参加者数 321名

「福祉教育ニュース」の発行

時 期：3月発行  
部 数：400部 区内小中学校等へ配布  
内 容：令和2年度学校等における福祉教育の実施状況、  
福祉教育体験プログラムの事例紹介



(4) 福祉意識の啓発

令和2年度保土ヶ谷区社会福祉功績者表彰式典

地域福祉活動に尽力された方々に対する表彰を行った。(共催：区役所)

※例年、地域福祉保健計画に関するフォーラムを同時開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受賞者および関係者のみで実施。

実施日：12月1日(火)

場 所：保土ヶ谷区役所本館201号会議室 出席者：1名

内 容：社会福祉功績者表彰(自立支援活動功労2名・金品寄贈功労1団体)

(5) 企業等の福祉貢献活動の支援

クリスマスケーキの配分

善意銀行にケーキ100個の寄託を受け、作業所等へ配分した。

実施日：12月23日(水)

配分先：児童福祉施設5か所、障害者地域作業所等27か所

寄付者：匿名

### 3.支援を必要とする人への自立・生活支援

#### (1) 障がい者の自立支援

##### 保土ケ谷区地域自立支援協議会

障害者総合支援法に位置付けられ、地域の関係機関と連携し、情報を共有しネットワークを構築することを目的としている会議に、事務局のメンバーとして参画した。自立支援協議会は6つの部会で構成されており、区社協は防災部会、情報部会、当事者部会、こども部会、精神部会及び事務局に参画した。

##### 【全体会】

新型コロナウイルス感染防止のため、書面審議となった。

内 容：①協議会の目的 ②ほっとなまちづくりについて ③グループワーク ほか

##### 【事務局会議】

各部会報告、協議会の運営および各部会事業内容の検討を行った。

##### 【防災部会】

災害時障害者支援センターの立ち上げや、障害施設における防災訓練についての地域連携を検討した。

##### 【計画相談部会】

新型コロナいう留守感染拡大防止のため中止

##### 【当事者部会】

地域啓発を当事者の目線で行うための福祉教育へのかかわり方などを検討した。

##### 【こども部会】

例年、地域ケアプラザや障がい者施設、養護学校とともに、障がい児余暇支援事業等を行っているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できなかった。

##### 【精神ネット部会】

精神障がい者の生活課題についての検討を行った。

また、アウトリーチ事業における連携等について検討した。

##### 各種施設運営協議会等への参加

地域活動ホーム、地域活動支援センター、地域作業所、地域療育センター、はまっ子ふれあいスクール、区内地域ケアプラザの運営協議会等に主に書面で参加して連携強化に努めた。

##### 保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会への参加

保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会（区作連）の全体会などに参加し、情報提供などを行った。また、地域作業所の地区社協会議への出席・施設見学・福祉教育等地域との連携支援を行った。

#### (2) 外出支援・送迎サービス事業

##### 送迎サービス事業（市外出支援サービス事業・区送迎サービス事業）の実施

公共交通機関での外出が困難な高齢者や障がい児者を対象に、送迎専用車輦でボランティアの運転による送迎サービスを4月に実施。5月以降は新型コロナウイルスの影響で事業休止。

##### 1.事業実施状況

送迎車輦：3台（車椅子用リフト付1台、後部座席回転シート付2台）

利用登録者：140名 利用件数：19件

ボランティア登録者数：運転ボランティア10名

(内訳)	目 的	市外出支援サービス	区送迎サービス	合計
	医療機関	7	10	17
	福祉サービス	0	0	0
	行政手続き	0	0	0
	通学	0	0	0
	その他	0	2	2
	合 計	7	12	19



2.ボランティア懇親会

運転ボランティアを対象に懇親会を実施した。

実施日：3月8日（月）

場 所：区福祉保健活動拠点 参加者：10名

内 容：感謝状の贈呈、ボランティア活動の紹介について

(3) 権利擁護事業

区内の高齢者・障がい者を対象に、権利擁護に関わる相談を受け付けるとともに、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づいて提供した。

1.相談件数：54件

対象者種別	件数
知的障がい者	0
精神障がい者	10
身体障がい者	7
高齢・認知症	1
高齢・その他(認知症以外)	33
その他	3
合計	54

2年度新規契約者数：16名 契約終了者数：8名

2.契約件数：83件

サービス内容	件数
福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス	66
財産関係書類等預かりサービス	17
合計	83

出張説明

権利擁護事業について地域および関係機関からの要請により、出張説明を行った。

実施日	対 象	実施場所
9月29日（火）	新任・就労予定ケアマネジャー	星川地域ケアプラザ

地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）

毎月開催の地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）に参加し、権利擁護事業に関する情報交換および事例検討、サポートネット等各種研修会開催のための打ち合わせを行った。

成年後見サポートネット

1.市民後見サポートネット

保土ヶ谷区の市民後見人バンク登録者を対象に、市民後見人の支援を目的として事例検討および研修を実施した。

※西区・南区については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止

11月24日（火） 場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター職員  
区高齢・障害支援課高齢者支援担当職員など

2.サポートネット全体会・専門職会議

各相談機関のネットワークづくりおよび専門職のスキルアップを目的とした成年後見サポートネット全体会へ参加し、権利擁護が必要な困難事例や課題の検討を行った。

9月15日(火) 場 所：保土ヶ谷公会堂

12月 8日(火) 場 所：保土ヶ谷区役所 ※専門職会議のみ

参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター職員  
区高齢・障害支援課高齢者支援担当職員、基幹相談支援センター

(4) 障がい児余暇支援事業

障がい児余暇支援事業「ほっとフレンズ」

区内地域ケアプラザ等と相互に協力し、実施に向け検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となった。

※ほっとフレンズ2020夏・ほっとフレンズ2021春ともに中止

(5) 移動情報センター事業

障がいのある方のための外出相談窓口として、相談の受付、ヘルパー事業所等の情報収集、ボランティアの育成を行った。

相談窓口での相談調整

障がいのある方本人や家族からの相談を受け、外出の目的や行き先などニーズにあわせた相談や情報提供を行った。

相談件数：187件

(内訳)	対象者種別	件数
	身体障がい	43
	知的障がい	117
	精神障がい	11
	重複障がい	11
	その他(高齢者含む)	5
	合計	187

ボランティアの発掘と育成

ガイドボランティア募集のチラシを作成し、区内班回覧を行った。区社協で実施した大学生向けの食支援でチラシを配布したり、公式LINEを開設したりし、人材の発掘につなげた。また、川島地域ケアプラザと共催で、ガイドボランティア養成講座を実施した。

事業者連絡会の開催

事業者が中心となり、戸塚区と合同で開催。コロナ禍での事業所の現状や困りごとについて話し合いを行った。

実 施：11月27日(金) 参加事業所：8事業所

場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

ガイドヘルパー啓発事業「障害福祉のお仕事サイトinほどがや」の開催

例年はお仕事相談会を開催し、ガイドヘルパーの啓発を行っているが、コロナ禍のためオンラインで障害福祉の事業所や仕事内容を紹介する取組を実施。

実 施：令和3年3月20日～6月30日

推進会議の開催

移動情報センターの各業務の推進について、関係機関の方から意見をいただき推進会議を定期的で開催した。推進委員として上菅田特別支援学校PTA・西部療育センター・西部学校教育事務所・横浜移動サービス協議会・横浜市ろう特別支援学校等の関係機関が参加。

6月10日(水)【書面開催】・10月30日(金)・2月24日(水)【書面開催】

利用者の交流会  
18才以下の利用者と保護者を中心にガイドボランティアとの交流促進のために企画。  
※中止（新型コロナウイルス感染拡大防止）のため、代わりにガイドボランティアと利用者にメッセージカードの作成を依頼し、互いに交換するなどし、交流を図った。

(6) 当者団体等の支援

障がい者週間キャンペーン  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(7) 児童福祉の推進

保土ケ谷区地域子育て支援連絡会  
地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、関係団体との連携を図った。子育て支援連絡会全体会を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。また、エリア別連絡会などで地域の情報について共有した。  
(区役所、保育園、保土ケ谷区地域子育て支援拠点こころとの共同事務局)

(8) 生活福祉資金貸付事業

相談件数：16,498件

【従来の貸付】

貸付件数：5件 貸付総額：2,842,000円

(内訳)	資金の種類	件数	貸付金額(円)
	福祉資金	1	1,584,000
	緊急小口資金	1	98,000
	教育支援資金	3	1,160,000
	不動産担保型生活資金	0	0
	合計	5	2,842,000

【特例貸付】

資金の種類	申請件数
緊急小口	1340
総合支援資金	998
総合支援資金（延長）	489
総合支援資金（再貸付）	209
合計	3,036

福祉資金

低所得者や障がい者世帯、離職者などに対し、民生委員の支援のもとに、自立に必要な資金の貸付、償還指導を行った。

相談件数：677件 貸付件数：4件

不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金

不動産があっても現金収入が少ない高齢者世帯に対し、その所有物件を担保に貸付する資金についての相談を行った。

相談件数：96件 貸付件数：0件

緊急小口資金

離職などによって住居を喪失し、生活維持が困難である離職者に対して、公的給付までの期間の生活費の貸付について相談を行った。

相談件数：6,886件 貸付件数：1件

総合支援資金

失業等により日常生活に困難を抱え、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費および一時的資金を必要とする世帯に対し相談を行った。

相談件数：8,884件 貸付件数：0件 ※特例貸付を除く

特例緊急小口資金・特例総合支援資金

コロナウイルス感染症拡大に伴う減収した世帯に対して貸付を実施した。

特例緊急小口資金：申請件数 1,340件

特例総合支援資金：申請件数 1,696件

生活福祉資金貸付事業民生委員研修

新任民生委員を対象に、生活福祉資金貸付制度についての説明や民生委員への協力依頼および情報交換を目的として実施した。

実施日：担当ケースごとに実施

場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

民生委員数：2人

児童支援・生徒指導専任教諭会での説明

11月の会議で教育支援資金について案内した。

(9) 困窮世帯等への支援

食糧支援

1. あったかほ도가や寄付による食支援

今年度新たな取り組みとして、あったかほ도가や寄付を募り、コロナ渦で生活に困窮しているひとり親家庭や学生に向けた食支援を行った。（募金額：1,252,006）

① ひとり親世帯支援

区こども家庭支援課・西部児童相談所・スクールソーシャルワーカーと連携し、生活に困窮している世帯に、2週間分の食支援を行った。継続して支援が必要な世帯には必要な分の支援を行った。

支援世帯数：延べ33世帯

② 学生への支援

アルバイトが出来ず、実家にも帰れないような困窮した学生を対象に食支援を行った。横浜国大生・聖ヶ丘福祉教育専門学校の学生を対象。

回数：3回（7/10・7/29～30・12/25） 延べ364名

2. セブンイレブン・ジャパンと連携し閉店・改装店舗から食料等の物品の寄付を受け

区内の福祉施設で活用いただく取組を実施。

物品の配分にあたり西部ユースプラザの協力を得て実施した。また学生支援への支援に活用された。

食料等預託数：5件

3. 区内企業との連携

① 日本ウイナー(株)・(株)ジャンボリア、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社と提携して食品ロスの寄贈を受け、困窮世帯への支援のほか、地域食堂（子ども食堂・みんなの食堂）等の活動で使用する食材として提供した。

※新型コロナウイルスの影響で、食堂の開催が減少し、協力件数も例年比減ではあった。

協力件数：17件

② 日本ウイナー(株)・(株)ジャンボリアについては、地域福祉保健計画区域計画の策定のため、地域との連携についてのヒアリングを実施した。

③ 保土ヶ谷公園や特別養護老人ホームの防災備蓄物品のうち消費期限が近い物の提供を受けて、食糧支援に活用した。

協力施設：3団体

④ 横浜FCと地域食堂との連携事業にフードバンク横浜とケンタッキー・フライド・チキンの協力を仲介した。

4. フードドライブ

フードドライブの取組について啓発を進め、地域での企画・実施を支援した。

区民会議、地区社協、横浜市資源循環局の協力により、バザーなどのイベント等の事業の協力もあり、地域を主体としたフードドライブが実施された。

いただいた食料の提供件数：206件

(10) その他

行旅人など援護事業

区福祉保健センターを通し、行旅人などへ交通費等の援護を行った。

援護費利用人数：7名 援護支出金額 2,840円

小災害見舞金の交付

区内で発生した小災害（火災・風水害・地震等）の被災者に対して見舞金を交付した。

見舞件数:6件、合計40,000円

【内訳】

区分	件数	区社協分単価	見舞金額	備考
全焼(全壊)	2	10,000	20,000	
半焼(半壊)	4	5,000	20,000	
合計	6		40,000	

交通遺児援護金の贈呈

区内交通遺児の卒業を祝し、激励金を交付した。

支給件数 1件 支給金額：50,000円

区分：高等学校卒業

#### 4.区社会福祉協議会の組織・体制強化

(敬称略)

(1) 理事会・評議員会・監事監査の開催		
理事会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
6月5日(金) 【決議の省略】 11名	1.令和元年度事業報告(案)及び収入支出決算(案)について 2.令和元年度監事監査報告について 3.福祉基金設置規程の改正について 4.令和2年度補正予算について 5.監事候補者の選任について 6.評議員候補者の推薦について 7.評議員選任・解任委員会招集について 8.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された 5.次のとおり選任、承認された 榑崎 佳代子(区福祉保健課長) 6.次のとおり推薦された 椎葉 秀幸(地域振興課長) 齋藤 有香(高齢・障害支援課長) 7.原案どおり承認された 8.原案どおり承認された
6月8日(月) 10名	1.会長・副会長の選定について	1.次のとおり選定された 【会長】畑尻 明(岩間地区) 【副会長】井上 力(川島東部地区)
9月10日(木) 9名	1.会員入会の承認について 2.補正予算案について 3.保土ヶ谷区社会福祉協議会 福祉基金設置規程および賛助会費制度実施要綱の改正について 4.地区社協助成金振込時期変更について 5.保土ヶ谷区社会福祉大会開催について 6.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された
3月16日(火) 【決議の省略】 10名	1.令和2年度収入支出補正予算(案)について 2.令和3年度事業計画及び収入支出予算(案)について 3.役員等賠償責任保険契約について 4.評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 5.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された
評議員会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
6月22日(月) 【決議の省略】 22名	1.令和元年度事業報告(案)及び収入支出決算(案)について 2.令和元年度監事監査報告について 3.令和2年度補正予算について 4.監事の選任について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.次のとおり選任された 榑崎 佳代子(区福祉保健課長)

9月24日（木） 18名	1.補正予算（案）について	1.原案どおり承認された
3月26日（金） 【決議の省略】 22名	1.令和2年度収入支出補正予算(案)について 2.令和3年度事業計画及び収入支出予算(案)について 3.職員就業規程の一部改正について 4.経理規程の一部改正について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された
監事監査		
実施日 出席者数	主な議題	結果
5月28日（木） 2名	1.事業執行状況について 2.経理状況及び財産状況について	1.適正であると認められた 2.適正であると認められた
(2) 各種部会・分科会の開催		
地域団体分科会		
3月23日（火） 【書面審議】 7名	1.分科会長及び副分科会長の選任について 2.区社協理事候補者の推薦について 3.区社協評議員候補者の推薦について 4.区社協広報紙「社協ほどがや」編集委員会委員の選出について	1.次のとおり選任された 【分科会長】 松野 忍（区老人クラブ連合会） 【副分科会長】 大久保 節子（区子ども会育成連絡協議会） 2.次のとおり推薦された 大久保 節子（区子ども会育成連絡協議会） 3.次のとおり推薦された 松野 忍（区老人クラブ連合会） 橘 みさお（区女性団体連絡協議会） 4.次のとおり選出された 大久保 節子（区子ども会育成連絡協議会）
ボランティア市民活動分科会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
9月16日（水） 14名	1.市社協「福祉ボランティア・市民活動部会」について 2.ボランティアパスポートについて 3.ボランティア団体間の情報共有の場の持ち方について 4.情報交換	1.赤坂副分科会長より、部会での検討事項について報告 2.市社協「福祉ボランティア・市民活動部会」にて作成された、ボランティアパスポートの活用について検討した。 3.分科会内における情報交換の場としてボランティア連絡会の立上げについて検討・情報交換を行った。 4.出席団体の自己紹介とコロナ禍における現状と課題について情報交換を行った。

実施日 出席者数	主な議題	結 果
3月30日（火） 10名	1.区社協役員候補者の推薦並びに各種委員等の選出について (1)区社協「ボランティア市民活動分科会」正副分科会長について (2)区社協役員候補者の推薦について (3)区社協広報紙「社協ほ도가や」編集委員の選出について (4)市社協「福祉ボランティア・市民活動部会」委員の推薦について 2.第4期地域福祉保健計画（ほとなまちづくり）について 3.意見交換	1.次のとおり推薦・選出された (1)正副分科会長 分科会長 穴原 豊（テングーよかボラ） 副分科会長 秋元 秘路子（ピアわらべ） 赤坂 厚子（NPO法人 ちゃっと） (2)役員候補者 理事候補者 穴原 豊（テングーよかボラ） 評議員候補者 秋元 秘路子（ピアわらべ） 赤坂 厚子（NPO法人 ちゃっと） (3)「社協ほ도가や」編集委員候補者 播口 輝二（和田・釜台地区「ふれあい型食事サービス」ボランティアの会） (4)市社協「福祉ボランティア・市民活動部会」委員 赤坂 厚子（NPO法人 ちゃっと） 2.穴原分科会長より、第4期地域福祉保健計画へのボランティア市民活動分科会としての関わりについてお話頂いた。 3.出席団体の情報交換を行った
民生委員児童委員分科会（保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会）		
12月11日(金) 22名	1.分科会長の選出について 2.区社協理事候補者の推薦について 3.区社協評議員候補者の推薦について	1.次のとおり推薦・選出された 分科会長 井上 力（川島東部地区） 副分科会長 田中 澄子（常盤台地区） 2. 次のとおり推薦された 理事候補者 井上 力（川島東部地区） 3. 次のとおり推薦された 評議員候補者 田中 澄子（常盤台地区） 評議員候補者 東小蘭 正富（中央地区）
自治会町内会分科会		
書面表決で実施	1.区社協広報紙「社協ほ도가や」編集委員の選出について 2.日本赤十字社 保土ヶ谷区地区委員会副委員長・監事候補者の選出について 3.共同募金会保土ヶ谷区支会支会長・副支会長候補者の選出について	1. 次のとおり推薦された 中村 好美（新桜ヶ丘地区） 2. 次のとおり推薦された 副委員長候補者 堀 功生（保土ヶ谷東部地区） 監事候補者 小石川 悦子（岩井町原地区） 3. 次のとおり推薦された 支会長候補者 堀 功生（保土ヶ谷東部地区） 副支会長候補者 福村 道幸（和田・釜台地区）



地区社協分科会（再掲：P1）		
実施日 出席者数	主な議題	結 果
7月13日（月） 21名	1.令和2年度保土ケ谷区社協事業計画について 2.令和2年度「地区社会福祉協議会 検討会」メンバーについて 3.ほっとなまちづくりについて 4.情報共有「コロナ禍でのまちの状況とほっとなまちづくりの策定について」 5.情報交換「地区別計画の進捗状況」	1.資料に基づき事務局より説明した 2.資料に基づき事務局より説明した 3.資料に基づき事務局より説明した 4.資料に基づき事務局より説明した 5.全体で情報交換を行った
9月29日（火） 22名	1.第38回保土ケ谷区社会福祉大会～ほっとなまちづくりフォーラム～について 2.ほっとなまちづくりについて 3.地区社協活動費・地区社協助成金の変更について 4.世帯賛助会費について 5.情報共有「いま、求められる地区社協活動」について 6.情報交換「コロナ禍での地域活動の再開について」 7.情報交換「第4期ほっとなまちづくりの策定進捗状況について」	1.資料に基づき事務局より説明した 2.資料に基づき事務局より説明した 3.資料に基づき事務局より説明した 4.資料に基づき事務局より説明した 5.資料に基づき事務局より説明した 6.全体で情報交換を行った 7.全体で情報交換を行った
11月26日（木） 20名	1.ほっとなまちづくりについて 2.令和3年度の地区社協助成金について 3.令和2年度第1回「地区社会福祉協議会検討会」報告 4.情報共有「第4期ほっとなまちづくりの策定進捗状況について」 5.情報共有「感染対策をした上で再開した地区の活動について」	1.資料に基づき事務局より説明した 2.資料に基づき事務局より説明した 3.資料に基づき事務局より説明した 4.全体で情報共有を行った 5.全体で情報共有を行った
3月9日（火） 書面開催	1.区社協「地区社会福祉協議会分科会」正副分科会長の選出について 2.区社協役員等候補者の推薦について検討会」メンバーについて 3.区社協広報紙「社協ほどがや」編集委員の選出について 4.地区社協への助成金について 5.地区社協状況書作成に伴うヒアリングについて 6.ほっとなまちづくりについて	1.次のとおり選任された 分科会長 中西 義宣（中央地区） 副分科会長 金子 久夫（上新地区） 2.次のとおり選任された 理事候補者 中西 義宣（中央地区） 理事候補者 金子 久夫（上新地区） 評議員候補者 縣 洋之（権太坂境木地区） 評議員候補者 鈴木 徳二（保土ケ谷地区） 評議員候補者 松野 正敬（上菅田地区） 評議員候補者 田宮 照夫（常盤台地区） 3.次のとおり選任された 根本 和治（保土ケ谷中地区） 4.資料送付 5.資料送付 6.資料送付

地域施設分科会		
3月19日（金） 【書面審議】 18名	1.分科会長及び副分科会長の選任について 2.区社協理事候補者の推薦について 3.区社協評議員候補者の推薦について 4.区社協広報紙「社協ほ도가や」編集委員会委員の選出について	1.次のおり選任された 【分科会長】島田 直樹（ほ도가や希望の家） 【副分科会長】谷口 実（夢21上星川） 2.次のおり推薦された 浅井 俊弥（区医師会） 小林 悦夫 （保土ヶ谷区役所福祉保健センター担当部長） 【監事】榎崎 佳代子 （保土ヶ谷区役所 福祉保健課長） 3.次のおり推薦された 金子 由紀子 （横浜SSJ ワークショップメンバーズ） 伊藤 洋介 （幸会 指定障害福祉サービス事業所タキオン） 椎葉 秀幸（地域振興課長） 齋藤 有香（高齢・障害支援課長） 4.次のおり選出された 島田 直樹（ほ도가や希望の家）

(3) 各種委員会の開催

ボランティアセンター運営委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月8日（月） 10名	1.令和2年度 善意銀行預託金配分の変更について	1.案のおり承認された
3月16日（火） 【書面審議】	1.相談・コーディネート状況について 2.令和2年度善意銀行の運営について 3.令和3年度善意銀行預託金の予算および配分について 4.令和3年度事業計画案について	1.資料送付 2.資料送付 3.案のおり承認された 4.資料送付

評議員選任・解任委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月8日（月） 4名	1.評議員選任・解任委員会 委員長・副委員長の選出について 2.評議員の選任について	1.次のおり選出された 【委員長】土師 幸子（明神台保育園） 【副委員長】中村 好美（新桜ヶ丘地区） 2.次のおり選任された 田中 澄子（常盤台地区） 東小蘭 正富（中央地区） 椎葉 秀幸（地域振興課長） 齋藤 有香（高齢・障害支援課長）

社協ほ도가や編集委員会		
実施日 出席者数	主な議題	結 果
11月26日（木） 7名	1.社協ほ도가や47号の振返りについて 2.社協ほ도가やの今年度の発行予定について（特集テーマ・記事内容）	1.資料に基づき事務局より説明し、内容を検討して合意した 2.資料に基づき事務局より説明し、内容を検討して合意した
1月13日（水）	中止 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	書面にて社協ほ도가や48号の原稿案を確認いただき、ご意見いただいた。
（4）財政基盤の強化		
世帯賛助会費		
地域の福祉活動を支援するために地域の方々、自治会町内会の協力により賛助会費を確保した。 実績額12,154,785円 ※詳細別掲（P21：別表1）		
（5）善意銀行の運営		
善意銀行預託金配分事業		
寄付金品の預託を受け、ボランティアセンター運営委員会にて配分案を決定した。 ※寄託・配分内容 別掲（P22：別表2）		
1.寄付金品 預託金1,925,212円 166件 寄託品 1件 （別表2参照）		
2.配分金 ふれあい助成金 1,000,000		
学生・子ども家庭食支援事業 1,157,923		
（6）窓口相談対応、ニーズの事業化		
ニーズの事業化		
ご意見箱を設置し、寄せられた意見、要望、提案、苦情等に対して回答・対応できる体制を整えた。		
ご意見箱の設置場所：区福祉保健活動拠点通路壁面		
提案用紙の設置場所：区福祉保健活動拠点内各室（全8か所）		
ご意見箱受付件数：0件		

(7) 苦情解決制度・情報公開制度

苦情解決

【内訳】			
対象事業	件数		内容及び対応
	申立	対応	
生活福祉資金	1	1	(内容) 4月20日(月) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う減収のため生活福祉資金貸付の相談したが、「6月になれば状況が変わっていますね」と言われ、職員にしっかり寄り添った対応をしてもらえず不快だった。  (対応) 常勤職員の会議で対応について振返りを実施する。一人一人の困りごとに寄り添う姿勢で対応することを再度確認する。相談件数が多く負担が大きい中でも、余裕を持って対応できるよう受付体制の変更を検討する。
合計	1	1	

(8) 福祉保健活動拠点の運営

福祉保健活動拠点の運営

ボランティアグループ、障がい者団体等に対して、拠点施設の貸し出しを行うとともに、備品等について常時点検・整備を行った。

登録団体：168団体(令和3年3月末)

利用件数：2,249件

(内訳)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	団体交流室	0	0	43	26	41	75	84
	多目的研修室他	0	0	95	207	143	165	199
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
	団体交流室	93	78	43	58	76	617	2,249
	多目的研修室他	183	166	131	161	182	1,632	

4, 5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸出停止

(9) 福祉関係5団体の事務局運営、事務局体制の整備

福祉関係5団体の事務局運営

福祉関係団体の事務局を運営し、連携の強化による地域福祉の推進に努めた。

- ・神奈川県共同募金会保土ヶ谷区支会
- ・日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部保土ヶ谷区地区委員会
- ・保土ヶ谷保護司会
- ・保土ヶ谷区遺族会
- ・保土ヶ谷区更生保護女性会

研修の実施・参加、交流

職員を様々な外部研修等に派遣し、また内部で伝達研修を行い、資質の向上に努めた。

令和2年度 世帯賛助会費実績・交付額一覧表（別表1）

実績総額 ¥12,154,785

（単位：円）

No.	地区社協名	①世帯数 (R2.10.1現在)	②算定世帯数 (①×90%)	③目安額 (@250×②)	④実績額	⑤還元額
1	保土ヶ谷	3,506	3,151	787,750	590,579	355,000
2	保土ヶ谷南部	2,651	2,384	596,000	291,060	175,000
3	保土ヶ谷中	2,307	2,075	518,750	354,340	213,000
4	保土ヶ谷東部	8,342	7,503	1,875,750	1,433,824	861,000
5	保土ヶ谷西部	3,967	3,566	891,500	644,609	387,000
6	新桜ヶ丘	2,550	2,294	573,500	448,694	270,000
7	権太坂境木	3,284	2,952	738,000	651,900	392,000
8	岩井町原	1,936	1,741	435,250	258,570	156,000
9	岩間	7,916	7,120	1,780,000	818,104	491,000
10	中央	7,981	7,178	1,794,500	1,131,554	679,000
11	中央東部	4,529	4,072	1,018,000	756,455	454,000
12	和田・釜台	3,068	2,760	690,000	426,231	256,000
13	上星川	2,675	2,407	601,750	366,573	220,000
14	常盤台	3,038	2,731	682,750	405,615	244,000
15	川島東部	3,260	2,934	733,500	511,250	307,000
16	仏向	5,187	4,667	1,166,750	866,368	520,000
17	川島原	2,741	2,462	615,500	337,430	203,000
18	西谷	3,210	2,887	721,750	382,881	230,000
19	上新	1,806	1,625	406,250	401,074	241,000
20	笹山	1,350	1,215	303,750	122,727	74,000
21	千丸台	1,200	1,080	270,000	225,562	136,000
22	上菅田	3,975	3,575	893,750	729,385	438,000
合 計		80,479	72,379	18,094,750	12,154,785	7,302,000

【配分区分】	第1回還元時		第2回還元時		合計
実績額	¥11,568,055	+	¥586,730	=	¥12,154,785
(1)地区社協還元金	¥6,950,000	+	¥352,000	=	¥7,302,000
(2)区社協活動費	¥4,618,055	+	¥234,730	=	¥4,852,785

※1 実績総額と収支決算書における賛助会費収入額とが相違しているのは、当該実績総額がR2/4月に納入いただいた額を含まず、R3/4月に納入いただいた額を含むことによります。

※2 配分区分の各額は次によります。



保土ヶ谷区ふれあい助成金助成団体および助成額内訳（別表3）

事業助成配分団体  
助成総額

181団体  
13,124,000円

I 要援護者支援区分

1) 集いの場活動

		団体名	事業名	助成金額
A	1	福祉ふれあいサロン	常設サロン	140,000
A	2	かみすげた茶屋	サロン	400,000
A	3	地域交流ボランティアセンター	サロン	150,000
			小計	690,000

B	1	ルネクラブ	茶話会 他	300,000
			小計	300,000

D	1	子育てサロン「おもちゃばこ」	子育て支援	90,000
D	2	こどもの居場所 こどもの遊び場	子育て支援	120,000
D	3	ささやまみんなde食堂実行委員会	みんなの食堂	120,000
D	4	おしゃべりサロン（みんなで歌おう会）	サロン	60,000
D	5	プレママ・プレパパ塾	子育て支援	120,000
D	6	千丸台クリア65	サロン	50,000
D	7	明寿会	サロン	98,000
D	8	体操グループ“ハッピー”	健康体操	95,000
D	9	ときわ虹の会	子育て支援	120,000
D	10	ピアわらべ	子育て支援	99,000
D	11	健康長寿体操むつみ	健康体操	110,000
D	12	常盤台地区高齢者交流会食会	会食会	99,000
D	13	たすけあいグループ「ひだまり」	健康体操	120,000
D	14	わんぱく隊	子育て支援	98,000
D	15	NPO法人ちゃっと	子育て支援	120,000
			小計	1,519,000

E	1	チューリップ	サロン	60,000
E	2	今井 福祉の会	サロン	80,000
E	3	よつ葉会	サロン	80,000
E	4	笑話会	サロン	80,000
E	5	上菅田ふれあいランチ	サロン	80,000
E	6	歌声広場ハーモニーささやま	サロン	70,000
E	7	仏向おしゃべりサロン	サロン	50,000
E	8	星の丘ビューシティ健康体操	サロン	80,000
E	9	ほのぼの会	サロン	50,000
E	10	ひまわりの会	サロン	80,000
E	11	保土ヶ谷中地区社協 葵の会	サロン	80,000
E	12	サロン・ふらっと109	サロン	80,000
E	13	人形劇団はまなす	子育て支援	80,000
E	14	おしゃべりのたまり場	サロン	80,000
E	15	健康麻雀初音が丘	サロン	80,000
E	16	シニアサロンやまびこ	サロン	70,000

E	17	にこにこクラブ	サロン	70,000
E	18	肉体美改造計画	サロン	80,000
E	19	サロン de 芙蓉ヶ丘	サロン	80,000
E	20	新桜ヶ丘住宅住民支え合いグループ	サロン	80,000
E	21	桜ヶ丘東部転倒予防体操会	介護予防	80,000
E	22	ミュージック脳トレ夢	介護予防	80,000
E	23	スポーツ愛好会	サロン	80,000
E	24	仏向楽らくクラブ	サロン	60,000
E	25	こりす	子育て支援	80,000
E	26	みんなでキッチン	みんなの食堂	80,000
E	27	ときわの森体操教室	介護予防	45,000
E	28	特定非営利活動法人よこはま成年後見つばさ	子育て支援	80,000
E	29	権太坂境木栄寿会	サロン	80,000
E	30	Gスマイル	サロン	50,000
E	31	ふれあい健康体操	介護予防	80,000
E	32	ピッコロ	子育て支援	80,000
E	33	子育てサロンポテト	子育て支援	80,000
E	34	サロン花見台	サロン	80,000
E	35	ひまわり	サロン	50,000
E	36	マザーズリンクいわい	サロン	80,000
E	37	ふれあいサロン	サロン	30,000
E	38	デイ・ケアすみれ	サロン	80,000
E	39	ほっとなサロン	サロン	80,000
E	40	りり庵	みんなの食堂	80,000
E	41	星川3丁目サロン「はなみずき」	サロン	80,000
E	42	まぜごはん	サロン	80,000
			小計	3,085,000

F	1	さくらの会	子育て支援	50,000
F	2	ボランティアグループひまわり	サロン	50,000
F	3	子育てサロンさくらんぼ	子育て支援	50,000
F	4	ボランティアグループ茜会	サロン	50,000
F	5	子育てサロンおひさま	子育て支援	50,000
F	6	よろこびの会	サロン	50,000
F	7	和田・釜台地区ミニデイサービスの会	ミニデイサービス	50,000
F	8	ふれあい型食事サービスボランティアの会	会食会	50,000
F	9	あったか食堂運営委員会	みんなの食堂	45,000
F	10	木曜会	サロン	50,000
F	11	ふれあいルームにこちゃん広場	子育て支援	50,000
F	12	カラオケサークル・サロン・パンジー	サロン	50,000
F	13	きらきらぼし	子育て支援	50,000
F	14	先輩ママによる赤ちゃん教室 ふいふ	子育て支援	10,000
F	15	ほのぼのクラブ	茶話会	50,000
F	16	ゆうゆうサロン	サロン	50,000
F	17	子育てサロンたんぽぽ	子育て支援	50,000
F	18	生き生きシニアの会(カフェ・グリーン)	サロン	50,000
F	19	マミーズ	サロン	30,000
F	20	パソコンサロンサークル笹山	サロン	50,000
F	21	ふれあいサロン上菅田	サロン	50,000



F	22	ネーブルカフェ	サロン	50,000
F	23	コンフォール仏向町健康体操の会	サロン	50,000
F	24	子育てサロンシュークリーム	子育て支援	50,000
F	25	NPO法人パオパオの木	子育て支援	50,000
F	26	ほどがや保育ボランティアかるがもキッズ	子育て支援	50,000
F	27	ボランティア団体星の輪	サロン	50,000
F	28	みんなの食堂運営委員会	みんなの食堂	50,000
F	29	コープふれあい会	サロン	50,000
F	30	おたのしみ会	会食会	50,000
F	31	横浜友の会ひよこぐみ	子育て支援	50,000
F	32	新井小学校文化スポーツクラブ学校開放部会	子育て支援	50,000
F	33	ヒルズほっこり茶房	サロン	50,000
F	34	一・二・三会	サロン	50,000
F	35	ミニディ上星川	サロン	50,000
F	36	カラオケ愛好会	サロン	50,000
F	37	スマイル	サロン	50,000
F	38	子育てサロンスマイル	子育て支援	50,000
F	39	富士見台小 子育てサロン	子育て支援	50,000
F	40	あんぱんまん	子育て支援	50,000
F	41	非営利活動法人 いと	サロン	50,000
F	42	ハッピーくぬぎ台 体操教室	サロン	25,000
F	43	わくわく食堂	みんなの食堂	40,000
			小計	2,050,000

## 2) 家事・生活支援活動

A	1	NPO法人 よこはまチャイルドライン	電話相談事業	400,000
A	2	地域ふれあい収集運営委員会	ゴミ出し支援	250,000
			小計	650,000

C	1	千丸台地区社協 在宅応急支援	助け合い活動	80,000
C	2	上星川地区社協支え合いの会	助け合い活動	160,000
			小計	240,000

D	1	明神台買物クラブ	助け合い活動	80,000
			小計	80,000

E	1	岩崎男性ボランティア	助け合い活動	50,000
E	2	峰1お助けマン	助け合い活動	50,000
E	3	仏向HEROS	生活支援	50,000
E	4	男助っ人隊	助け合い活動	50,000
			小計	200,000

## 3) 配食活動

B	1	千丸台地区社協 食事サポート	配食・見守り	95,000
C	1	NPO法人 新桜ヶ丘パ-ナー 「さくら草」	弁当配達	240,000
			小計	240,000

D	1	あじさいの会 (保土ヶ谷中地区配食グループ)	配食	90,000
D	2	上星川配食会	配食	90,000
			小計	180,000

E	1	和田・釜台地区配食サービス	配食	80,000
E	2	キッチン友の会	配食	80,000
E	3	仏向Y・配食	配食	50,000
E	4	法泉アクティブサポート	配食弁当	80,000
E	5	新井町 お茶葉会	配食	80,000
E	6	中央地区配食ボランティア	配食	80,000
			小計	450,000

#### 4) 送迎活動

A	1	NPO法人コアア東戸塚	送迎活動	350,000
			小計	350,000

B	1	仏向ふれあいワゴン実行委員会	送迎活動	300,000
			小計	300,000

C	1	仏向地区社会福祉協議会 送迎支援サービス	送迎活動	95,000
C	2	千丸台地区社協 外出支援	病院への送迎	200,000
			小計	295,000

## II 障害児者支援区分

### 1) 障害児者・当事者支援活動

A	1	NPO法人 きてん 第二はまかぜ	余暇活動	165,000
			小計	165,000

C	1	Bホップダンス	余暇支援	95,000
C	2	ブルーバンド	集い	100,000
			小計	195,000

D	1	さくらんぼの会	水中訓練・リハビリ	60,000
			小計	60,000

E	1	ハートの会ボランティアグループ	クリスマス会	40,000
E	2	市精連 かるがも杯将棋・囲碁大会実行委員会	囲碁大会	40,000
E	3	テンダーよかボラ	余暇支援	40,000
			小計	120,000

### 2) 宿泊・日帰りハイク

A	1	NPO法人きてん トラック	1泊研修旅行	50,000
A	2	NPO法人ふれんど4 5 グループホームサンハイツ狩場	1泊研修旅行	50,000
A	3	一般社団法人 地域作業所 第1はなかご	日帰りハイク	50,000
A	4	一般社団法人 地域作業所 第2はなかご	日帰りハイク	50,000
A	5	特定非営利活動法人 横浜市精神障がい者 就労支援事業会 ワークショップメンバーズ	日帰りハイク	50,000

A	6	わかば会（視覚障害者カラオケ）	日帰りハイク	50,000
			小計	300,000

### 3) 視覚・聴覚障害者支援

A	1	手話サークル ほしの会	手話サークル	50,000
A	2	保土ヶ谷区点訳サークル 「虹」	点訳サークル	50,000
A	3	手話サークル もみじ会	手話サークル	50,000
A	4	さくらの会	手話サークル	50,000
A	5	保土ヶ谷録音グループ 「はし」	音声訳・朗読	50,000
			小計	250,000

### Ⅲ 福祉のまちづくり区分

A	1	やまゆりの会	地域交流	40,000
A	2	サークル星の子	子育て支援	40,000
A	3	いきいき体操サークル	いきいき体操	40,000
A	4	新井中学校文化・スポーツクラブ	地域交流	40,000
A	5	ほどがや えかたり〜べ	紙芝居	40,000
A	6	ちくちく	布おもちゃ	40,000
A	7	おれんじ・ドンキー	福祉啓発	40,000
A	8	きつつき仲間	地域交流	40,000
A	9	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会 （保土ヶ谷区ヘルスマイト）	健康づくり	40,000
A	10	保土ヶ谷ファミリーハイツ 災害時あんしんボランティア	防災・地域交流	40,000
A	11	リズム♪	子育て支援	40,000
A	12	そこそこ手伝い隊	いきいき体操	40,000
A	13	ほどがやおもちゃ再生館	おもちゃドクター	40,000
A	14	学童保育 たけのこクラブ	施設・病院支援	40,000
A	15	FM上星川	地域交流	40,000
A	16	ハッピー2	健康づくり	40,000
A	17	ボランティアグループ趣味の会	地域交流・施設支援	40,000
A	18	ユアグループ	地域交流・施設支援	40,000
A	19	楽遊園	外国籍支援	40,000
A	20	ハロースタンプ	使用済み切手活用	40,000
A	21	じょうしん健康ウォーキング	健康づくり	40,000
A	22	ふじの会	地域交流・施設支援	40,000
A	23	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪	地域交流・施設支援	40,000
A	24	傾聴ボランティアグループ「あのね」	地域交流・施設支援	40,000
			小計	960,000

B	1	特定非営利活動法人 横浜市精神障がい者就労支援事業会 ジョブアシスト横浜	啓発・勉強会	30,000
B	2	なるこ 会	施設・病院支援	30,000
B	3	NPO法人 ほどがやカルガモの会	作品展・体験	30,000
B	4	瀬戸ヶ谷地域子ども会	子育て支援	30,000
B	5	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	防災・地域交流	30,000
B	6	特定非営利活動法人 ささえあいの和と輪	地域交流の外出	30,000
B	7	ブルーポケット	防災・地域交流	30,000
			小計	210,000

IV 健康増進区分

A	1	ハーブの会	レクリエーションボランティア	10,000
A	3	青空クラブ	ラジオ体操	10,000
			小計	20,000

新規事業立ち上げ資金

G	1	デイサービス ひまわり	サロン	40,000
G	2	オリーブの会	生活支援	40,000
G	3	動物愛護福祉支援協会 (地域コミュニティカフェ ニャトワン)	サロン	40,000
			小計	120,000